

オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

| | |
|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題(研究番号) | 同種臍帯血移植(UCBT)におけるmethotrexate(MTX)及びmycophenolate mofetil(MMF)の投与量に関する後方視的検討 |
| 当院の研究責任者(所属) | 鐘野 勝洋(血液内科) |
| 多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属) | 名古屋大学医学部附属病院 血液内科 研究責任者 寺倉 精太郎(名古屋大学医学部附属病院 血液内科) |
| 研究の目的 | UCBTでの、移植前治療(骨髓破壊的前処置と非破壊的前処置)に対する至適な免疫抑制療法の検討。 |
| 対象となる調査期間 | 2004年1月1日から2016年12月31日まで |
| 対象となる患者様 | 上記期間に骨髓破壊的前処置により臍帯血移植を受けた、16歳以上の急性骨髓性白血病に対する初回移植症例 |
| 使用する情報、試料等([O]の項目を利用します) | []血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [O]診療記録、[]臨床検査データ、 []その他(空白に記載) |
| 研究期間 | 実施承認日から2020年12月31日まで |
| 情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法 | 匿名化されたTRUMP-IDを用い、症例ごとのMTXもしくはMMFの具体的な投与量を二次調査票により調査する。調査票を記載の上、造血細胞移植データセンターに返送する。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。 |
| 備考 | 診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。 |

申請日 2018年11月30日

入力者 鐘野 勝洋

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい
HP掲載を終了します。